

漢語名詞の副詞用法 ～『現代日本語書き言葉均衡コーパス』 『太陽コーパス』を用いて～

高橋圭子 (東洋大学)
東泉裕子 (東京学芸大学)

Use of Sino-Japanese Nouns as Adverb: Evidence from the Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese (BCCWJ) and the *Taiyo* Corpus

Keiko Takahashi (Toyo University)
Yuko Higashiizumi (Tokyo Gakugei University)

1. はじめに

現代日本語では、「結果」などの漢語名詞が、文頭または文中で副詞として使われることがあり、話し言葉から書き言葉にも広がりつつあるようである。例えば、『現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ) 』には、次のような用例がある。

- (1) 通い続けている鍼治療院の院長から、身体の異変を指摘され、ガンが発見されたのだ。結果、早期治療に結びついた。(LB14_00040、図書館・書籍、段勲『私はこうして「がん」を克服した：「がん」から生還した22人のドキュメント』、日本能率協会マネジメントセンター、1997年¹⁾)
- (2) それはまた生活の質的な向上にもつながり、結果、加齢とうまく折り合いがつけられるという考え方だ。(LBt4_00034、図書館・書籍、小野繁『ドクター・ショッピング：なぜ次々と医者を変えるのか』、新潮社、2005年)

このような用法は、「その結果において」「～ル／タ結果として」などの副詞句の一部として使われていたものが、先行の「その」「～ル／タ」や後続の「として」「において」などが脱落し、単独で用いられるようになったものと考えられる。しかし、前後の要素が脱落しても意味や機能は基本的には変わらない。本発表では、「結果」のこのような用法を「文副詞的用法²⁾」と呼び、『BCCWJ』および『太陽コーパス』のデータを比較することにより、名詞から副詞への用法拡張のさまを観察する。

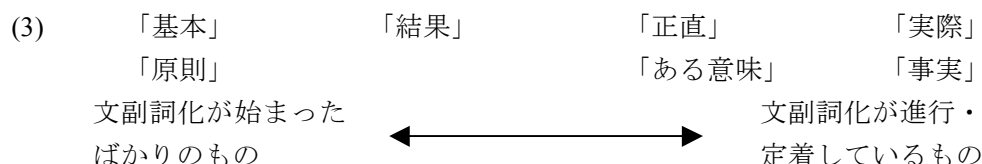
2. 先行研究

「結果」の副詞用法については、見坊(1988)、坂梨(2011)などにも用例の収集・報告がある。しかし、この用法の発生プロセスの実証的研究は、管見ではわずかである。

¹⁾ 『BCCWJ』の用例には、サンプルID、レジスター、出版年を付記する。さらに、書籍には執筆者、書名、出版社も記す。

²⁾ 原則として「文副詞」は文頭に位置するものだが、本発表では(2)のような文中のものも、文頭の「文副詞」につながる例と考え、あわせて、文副詞「的」用法と呼ぶことにする。

高橋（2012）は、『BCCWJ』および『青空文庫』³をデータとして、名詞句「結果」「基本」「原則」「実際」「事実」「正直」「ある意味」の用法を調査した。いずれの名詞句も時の経過とともに文副詞化が進行しているが、その度合いは現代日本語においては(3)に示すように名詞句によって異なるという結果を得た。



東泉・高橋（2013）は、「結果」「あげく」の用法を、『BCCWJ』および『太陽コーパス』にて調査し、『太陽コーパス』では多様であった中間的用法の表現が『BCCWJ』では固定化・定型化してきていることを確認した⁴。例えば、『太陽コーパス』で多用されていた「その結果として」に代わり『BCCWJ』では「その結果」が多用され、『太陽コーパス』に見られた「（その）結果において」は、『BCCWJ』では用いられなくなっている。

但し、『BCCWJ』を調査した両研究では検索ツールとして『少納言』が用いられており、検索に限界がある、ジャンルごとの分析がなされていない、などの不十分な点がある。また、「結果」の文副詞的用法の中には、因果関係の結果ではなく、単に時間の前後をつないでいるように解釈される用例もあった。「結果」という実質的意味の希薄化が起きているようであり、文脈を考慮しつつ、質的に研究する必要がある。

3. 理論的枠組み

高田他（2011）によれば、歴史語用論のこれまでの研究成果から、語の意味変化は、実質的意味を表すものから話し手の主観的な意味を表す方向への変化が、その逆方向より多いということである。例えば、英語の名詞 *fact* は、*in fact* という形で「実際において」という意味を表すようになり、やがて「たしかに」「しかしながら」という話し手の真実性に対する判断を表す副詞句となり、次いで「前述したことよりこれから述べることのほうが大切である」ということを知らせる談話標識（discourse marker）として用いられるようになったという。

また、Onodera (2004)によれば、「でも」「けど」の談話標識としての用法は、それぞれ *V-te + mo* や *V + kedo* から拡張したという。このような用法の拡張プロセスは (4)のように表すことができる。

- (4) *V-te + mo* (14th–19th C) > *Demo* (18th–early 20th C) > *Demo* (PDJ)
V + kedo (18th–early 20th C) > *Dakedo* (early 20th C–PDJ)
 (Onodera 2004:111, 113 を改変)

³ 検索サイト「日本語用例検索 <http://www.let.osaka-u.ac.jp/~tanomura/kwic/aozora/>」を利用した。

4 『太陽コーパス』は総合雑誌の全文コーパス、『BCCWJ』は書き言葉の均衡コーパスであるため、ジャンル差を考慮せずに単純に比較することはできない。しかし、より広いジャンルをカバーしている『BCCWJ』においてバリエーションが少ないということは、現代に向かって用法が固定化・定型化していると見なすことができよう。

同様に、「だって」(Mori 1996)や「だから」「なので」(東泉 2012)などの談話標識用法も、従属節末の用法から談話標識的用法へという拡張のプロセスをたどっているようである。「結果」も同じような拡張のプロセスをたどり、文副詞的用法がさらに談話標識的な用法へと、用法を拡張していくと予想される。

4. 量的調査

総合雑誌『太陽』の記事を収録した『太陽コーパス』と比較するため、『BCCWJ』所収のデータのうち「総合雑誌」を検索対象とした。検索ツールは、『BCCWJ』はオンライン版『中納言 1.1.0』、『太陽コーパス』は同梱の全文検索システム『ひまわり』を用いた。両コーパスの「結果」の用法を表1にまとめる。また、『BCCWJ』の「総合雑誌」「知恵袋」「ブログ」の「結果」の用法をまとめたものが、表2である。

表1・表2ともに、「名詞」には、格助詞やコピュラが後続する例(省略されている例も含む)、「結果発表」「診断結果」のように複合名詞の一部として用いられている例をカウントした。「文副詞的」には、「結果として」「結果的に」「その結果」などと置き換え可能な例を、「名詞/副詞」にはどちらにも解釈可能な例をカウントした。また、「副詞句」の表現で「N」としたのは名詞句の意である。

表1 『BCCWJ』(総合雑誌)と『太陽コーパス』における「結果」の用法

分類		表現	BCCWJ 総合雑誌 2001-2005		太陽コーパス 1895-1925	
文副詞的		結果	26	3.5%	1	0.0%
名詞/副詞		結果	1	0.1%	0	0.0%
副 詞 句	副詞句 A (結果＋ 後続部分)	結果として	21	2.9%	0	0.0%
		結果において	0	0.0%	1	0.0%
		結果的に	59	8.0%	1	0.0%
		小計	80	10.9%	2	0.1%
	副詞句 B (先行部分 ＋結果)	こ/その結果	94	12.8%	308	8.0%
		N の結果	23	3.1%	445	11.5%
		こ/その N の結果	2	0.3%	0	0.0%
		ル/タ結果	48	6.5%	447	11.6%
		小計	167	22.8%	1200	31.1%
	副詞句 C (先行部分 ＋結果＋ 後続部分)	その結果として	7	1.0%	102	2.6%
		N の結果として	0	0.0%	147	3.8%
		そうした N の結果として	1	0.1%	0	0.0%
		ル/タ結果として	5	0.7%	74	1.9%
		その結果において	0	0.0%	5	0.1%
		小計	13	1.8%	328	8.5%
名詞		結果	446	60.8%	2326	60.2%
動詞		結果する	0	0.0%	4	0.1%
合計			733	100.0%	3861	100.0%

表1の「副詞句」からは、東泉・高橋（2013）で指摘された形式の固定化・定型化に加え、短縮化・抽象化が進行していることがうかがえる。例えば、「先行部分＋結果＋後続部分」という最も冗長な形式の「副詞句C」はいずれの表現も減少している。また、「先行部分＋結果」という形式の「副詞句B」においても、「Nの結果」「ル／タ結果」は減少し、より短縮化・抽象化された「こ／その結果」が増加している。

表2 『BCCWJ』総合雑誌・知恵袋・ブログにおける「結果」の用法

分類		表現	総合雑誌 2001-2005		知恵袋 2005		ブログ 2008	
文副詞的		結果	26	3.5%	108	7.6%	134	4.7%
名詞/副詞		結果	1	0.1%	23	1.6%	40	1.4%
副 詞 句	副詞句 A (結果＋ 後続部分)	結果として	21	2.9%	36	2.5%	74	2.6%
		結果において	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		結果的に	59	8.0%	107	7.6%	131	4.6%
		小計	80	10.9%	143	10.1%	205	7.2%
	副詞句 B (先行部分 ＋結果)	こ/その結果	94	12.8%	65	4.6%	99	3.5%
		Nの結果	23	3.1%	50	3.5%	69	2.4%
		こ/その Nの結果	2	0.3%	0	0.0%	2	0.1%
		ル/タ結果	48	6.5%	105	7.4%	121	4.2%
		という結果	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
		小計	167	22.8%	220	15.6%	292	10.3%
	副詞句 C (先行部分 ＋結果＋ 後続部分)	その結果として	7	1.0%	4	0.3%	7	0.2%
		Nの結果として	0	0.0%	1	0.1%	3	0.1%
		そうした Nの結果 として	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
		ル/タ結果として	5	0.7%	1	0.1%	4	0.1%
		結果と	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
		その結果に	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
		その結果において	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		小計	13	1.8%	7	0.5%	15	0.5%
名詞		結果	446	60.8%	911	64.5%	2162	75.9%
動詞		結果する	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計			733	100.0 %	1412	100.0 %	2848	100.0 %

表2からは、「総合雑誌」より「知恵袋」「ブログ」において、「文副詞的」用法や「名詞/副詞」の例が多いことがわかる。「知恵袋」「ブログ」は、『BCCWJ』の中でも話し言葉に近いレジスターであり、「結果」の文副詞的用法が話し言葉にも書き言葉にも広がっているさまがうかがえる。

5. 質的分析

5. 1 名詞と副詞の連続性

「結果」の名詞から副詞への用法拡張を考えるヒントとして、ここでは、名詞と文副詞のどちらにも解釈可能な例を検討する。これには、例えば、次のようなものがある。

- (5) 投資塩漬けにして上がるのを待つより、どんどん上がっている株に投資していく方が結果儲かります。(OC03_02100、特定目的・知恵袋、2005年)
- (6) 金額は約6万円で結果プラス二十五万になりました。店が遠隔で出してくれたのでしょうか？(OC15_02262、特定目的・知恵袋、2005年)
- (7) トホホホです。まあ、そんなことで今年のNHKマイルカップは結果残念でしたが、(OY15_01106、特定目的・ブログ、2008年)
- (8) 俺は3点ビハインドで先頭打者が2回も出塁したのに強行作戦を敢行して結果失敗カーッ(° 皿° 卍° 皿°)、ペッ残塁8つって・・・(OY15_21256、特定目的・ブログ、2008年)
- (9) 近くの個人病院(泌尿器科)で検査。所見：前立腺肥大の疑い有りとのことで血液検査。但し結果異常ない。医師談：疲労からでしょうかね。(LBr9_00153、図書館・書籍、西出真由美『がんばって！っていわないで。：がん患者180の本音』主婦と生活社、2003年)
- (10) また、体験談などありましたら結果どうであれ教えて下さい。(OC09_00059、特定目的・知恵袋、2005年)

これらの例の「結果」はいずれも、後続の助詞「は」ないし「が」が省略された名詞の用例とも、「結果的に」「結果として」の意の文副詞的用例とも解釈できる。

こういった例は、「総合雑誌」「知恵袋」「ブログ」いずれのレジスターにおいても、スポーツ、ギャンブル、投資、病気の診断、といった話題の記事に多く見られ、特に、スポーツ、ギャンブルの話題では、次の(11)・(12)のように、名詞の並置で文が構成されている用例が多い。一方、(5)～(10)は、名詞並置でない一般的な構造の文であり、その中の「結果」は名詞とも文副詞的とも解釈できる。しかし、「結果」の表す意味・機能自体は、(5)～(10)も(11)・(12)もほぼ同様ではないだろうか。

- (11) スパーキングレディーカップ【結果】 川崎ダ千六百m □メイショウバトラ
ー 牝8／鹿毛 2着逆らわなくてよかった(^ω^)(OY15_04928、特定目的・ブログ、2008年)
- (12) 浦和十一R □ 7 コアレスデジタル3連単 7→4、十→3、4、8、十結果
8→5→4 はずれ... (OY15_15534、特定目的・ブログ、2008年)

また、名詞と文副詞的用法の両方の解釈が可能な例には次のようなものもある。

- (13) 歯茎の検査をされまして... これが長い、痛い(笑 結果... 前回よりはあまり良くないとのこと。(OY15_10541、特定目的・ブログ、2008年)
- (14) あ・・・そうやwwテスト無事今日終わりました～～～ww 結果・・・聞きたくないなあ・・・ (OY14_04018、特定目的・ブログ、2008年)

- (15) あいのりのジュンペイは結果どうなったのですか？最近バイトが多忙で見過ごしてしまいました。(OC01_06891、特定目的・知恵袋、2005 年)
- (16) 「とりあえず胃カメラの予約をしましょう」早くで一週間、遅いと数カ月後に検査となります。そして結果「胃潰瘍がかなり進んでいます。手術をしたほうがいいでしょう」と癌と判明したにもかかわらず、このように説明されます(PB14_00057、出版・書籍、寺下謙三『プライベートドクターを持つということ：新主侍医制度』同友館、2001 年)
- (17) 「煮詰まったら外を見よ」という格言が僕の中にありこれがかなりの確率でうまくいく結果一番の近道となる・・・ことが多いさらに今回タイミング良くお声をかけて頂いていたのだこのたびは(OY15_22114、特定目的・ブログ、2008 年)

(13)・(14)は「結果」のあとに間をおき、結果発表に向け期待と緊張感を高める話し言葉的技法が用いられていると考えられる。(15)・(16)は、名詞として助詞を補うと次のようになるが、不自然さは否定できず、「結果的に」「結果として」の意の文副詞的用法に近づいている例と考えられる。

- (15') あいのりのジュンペイは結果はどうなったのですか？
- (15'') あいのりのジュンペイの結果はどうなったのですか？
- (16') そして結果は「胃潰瘍がかなり進んでいます。手術をしたほうがいいでしょう」と、癌と判明したにもかかわらず、このように説明されます

(17)は、句読点が付されていないため、名詞・文副詞的用法の両様に解釈できる例である。これも、話し言葉と共通する特徴である。

5. 2 実質的意味の希薄化

「結果」の辞書的意味は、ある原因によって達した結末の状態をいう。しかし、文副詞的用法の「結果」には、このような実質的意味が希薄化している例が見受けられる。

- (18) この件に近い内容で、結局居住者の承諾を取らず無断で立ち入った案件がありました。結果、居住者は 300 万円相当の腕時計と指輪がなくなったと主張し警察を呼びました。(OC08_01946、特定目的・知恵袋、2005 年)
- (19) 『何が皆の成功を邪魔するのか』→□成功体験八割は人の心の在り方を変える→その結果自分の人生を創造するように成る→結果として人生の色々な出来事に振り回されずに済むんだ (OY14_01129、特定目的・ブログ、2008 年)
- (20) これだけ借金作つといて私たちはこれっぽっちも悪くないのに痛みだけ分かち合おうと？？結果、増税？？ふざけんのもい一加減にしてくれ。(OC05_01146、特定目的・知恵袋、2005 年)
- (21) シミはどこにできても、なっかなか薄くはならないさ...二十一世紀は男も女も黙って美白！結果自然にやけてブロンズカラーになるのは仕方無いんだろうけど...シミはNGだ！(OY14_13062、特定目的・ブログ、2008 年)

(18)は、東泉・高橋(2013)において、因果関係の結果を表すわけではなく、「そして」

のように単に時間の前後関係をつないでいるだけの例と指摘されたものである。(18)の「結局」「結果」も、(19)の副詞句「その結果」「結果として」も、(19)の「→」と同様、「そして」「そうすると」のように継起する事態を次々に述べるため用いられており、いずれも結果・結末と言える状態には達していない。(20)も、痛み分けの次の段階として増税があるのであり、増税の先にはさらに次の段階がある。決して、増税が最終段階であるわけではない。(21)は、「結果」の前後に因果関係は全く認められないケースである。

6. 考察

「結果」の名詞から文副詞的用法への拡張のプロセスを論じるにはまだ調査不足ではあるが、拡張の過程に「その結果」「ル／タ結果として」などの副詞句が関わっており、やがてまず話し言葉において前後の要素が脱落し単独で用いられるようになり、それが書き言葉においても話し言葉に近い特徴を持つ「知恵袋」「ブログ」から、「雑誌」など一般の出版物にも広がりつつある様相の一端は跡付けられたと考える。

文副詞的用法の用例の大半は、脱落の前と意味・機能は変わらず、これが当初の用法であったと考えられるが、やがて、形式の短縮とともに意味・機能にも変化が生じるようになった。1つには、(13)・(14)に見られたような、「これから重大なことを発表する」といった意味合いの談話標識的機能が指摘できる。また、もう1つ、(18)から(21)で挙げたような、実質的意味の希薄化がある。

文副詞的用法の見られる漢語には、「結果」のほかに、「実際」「事実」「基本」「原則」などがある。しかし、和語に比べ漢語は、実質的意味の希薄化は生じにくい。「結果」は漢語ではあるが、使用頻度の高い漢語が和語と同様の現象を示す例は、接頭辞「お／ご」の使い分けなどいくつも挙げられる。文副詞的用法の「結果」の実質的意味の希薄化は、他の漢語より和語の談話標識に近い例と言えるだろう。

しかし、当然のことながら、「結果」には和語の談話標識と異なる点もある。先行研究によれば、「だから」「だって」「でも」などの和語は、従属節末から文頭の談話標識へ用法を拡張してきた、という。「結果」の場合、「ル／タ結果」などは従属節末での用法だが、「その結果」「結果として」といった従属節末以外の用法もかなりの比重を占める。和語や他の漢語との異同を慎重に確認しつつ、調査を進めて行く必要がある。

7. むすび

本発表では、『BCCWJ』『太陽コーパス』を用いて「結果」の文副詞的用法を調査し、名詞から文副詞的用法の拡張に関わる諸側面や、談話標識的用法・実質的意味の希薄化について、他の漢語や和語と比較しつつ観察した。

漢語名詞の文副詞的用法への拡張は、現在進行中の現象である。今後も調査・観察を続けたい。

謝 辞

本研究の一部は、第6回ひと・ことばフォーラムにおいて発表したものです。ご助言をくださった方々に感謝申し上げます。

文 献

- 見坊豪紀(1988)「結果(副詞的用法)」『現代日本語用例全集』、pp.41-42、筑摩書房
- 坂梨隆三(2011)「『おられる』の補遺と『ある意味』『ある種』の用例一付、『結果』『正直』」帝京大学日本文化学会『帝京日本文化論集』18、pp.1-33.
- 高田博行・椎名美智・小野寺典子編著(2011)『歴史語用論入門』大修館書店
- 高橋圭子(2012)「コーパスにみる名詞句の文副詞的用法」第10回対照言語行動学研究会
(http://www.ryu.titech.ac.jp/~nohara/taishogengokoudou/files/abst10/abst10_5takahashi.pdf)
- 東泉裕子(2012)「日本語の発話の周辺部: 理由を表す接続詞と接続助詞の競合の事例から」
青山英語英文学研究会発表(2012年11月21日青山学院大学)
- 東泉裕子・高橋圭子(2013)「『結果、こういうことが言えそうです』～コーパスにみる名詞
の文副詞的用法～」国立国語研究所『第3回コーパス日本語学ワークショップ予稿集』、
pp.91-96.
(http://www.ninjal.ac.jp/event/specialists/project-meeting/files/JCLWorkshop_no3_papers/JCLWorkshop_No3_12.pdf)
- Mori, Junko (1996) Historical Change of the Japanese Connective *Datte*: Its Form and Functions. In *Japanese/Korean Linguistics*. 5. pp.201-218.
- Onodera, Noriko (2004) *Japanese Discourse Markers: Synchronic and Diachronic Discourse Analysis*. Amsterdam: Benjamins.

コーパス

- 国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)』
- 国立国語研究所(2005)『太陽コーパス』(国語研究所資料集15) 博文館新社